

拝啓

貴職におかれましては、御健勝にて御活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、東日本大震災、平成二十八年熊本地震、平成二十九年九州北部豪雨、平成三十年七月豪雨、北海道胆振東部地震などの被災地への人的支援につきましては、これまで格別の御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

また、本年は、八月の前線に伴う九州北部の大雨、台風第十五号、台風第十九号などの大規模災害による被災地に対しましても、発災直後より、「被災市区町村応援職員確保システム」に基づく応援職員の派遣など、全国から積極的な御支援をいただきましたことにつき、重ねて御礼申し上げます。

避難所の運営や罹災証明事務などに係る短期の職員派遣は、概ね順調に推移し、被災団体からは大きな感謝の声が寄せられています。

一方、復旧・復興事業については、これまでも各被災団体において、重点的な職員配置や任期付職員を含む新たな職員の採用等、人材確保に向けた様々な努力を重ねておられますが、それでもなお、現場では、土木などの技術職員をはじめとして様々な職種で中長期の人員が不足

し、その確保に苦慮されている状況です。

貴職におかれましては、被災した地方公共団体の窮状を御理解いただき、今年度の新たな災害を含め、東日本大震災以降の大規模災害の被災地に係る中長期の職員派遣につきまして、格別の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

総務省といたしましても、財政支援、人的支援、ソフト面での支援など、全職員が一丸となって、一日も早い復旧・復興支援に取り組んでいく所存でございます。貴職の御協力を重ねてお願い申し上げます。

末筆ながら、貴職の御健康と益々の御活躍をお祈り申し上げます。

敬具

令和元年十一月十八日

総務大臣

高市早苗

都道府県知事 殿（市区町村長 殿）